

株式会社コメリ

2027年3月期 中間期

決算説明会資料

(2026年4月1日～2026年9月30日)



<https://www.komeri.bit.or.jp/>



2026年10月28日
東証プライム (8218)

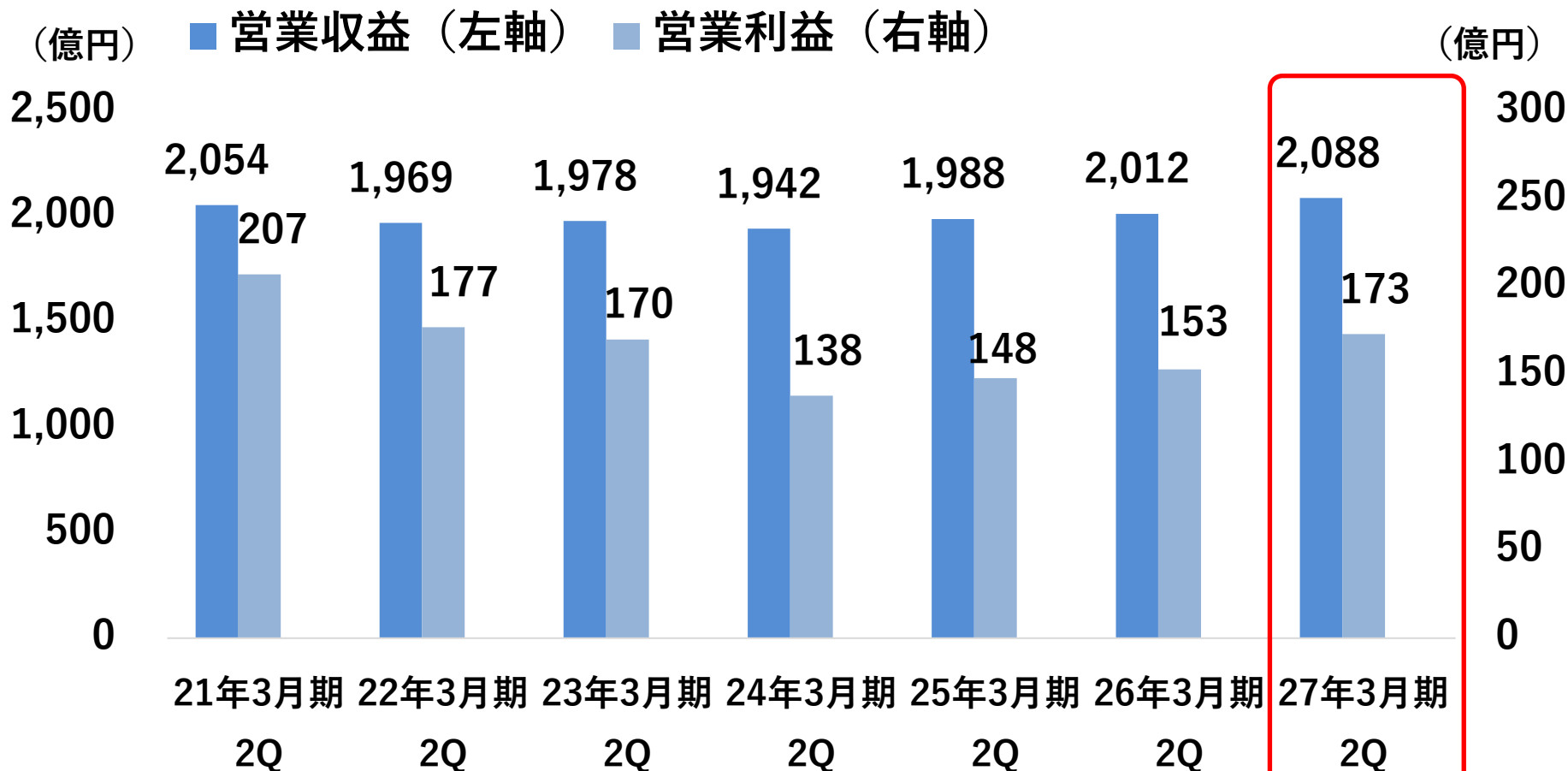
2027年3月期 中間期 決算実績（連結）



（単位：百万円）

	2027年3月期 中間期実績	営業収益比	前年比	計画比
営業収益	208,803	100.0%	103.8%	99.7%
営業総利益	73,630	35.3%	105.1%	101.1%
販売管理費	56,329	27.0%	103.0%	99.8%
営業利益	17,301	8.3%	112.6%	105.5%
経常利益	17,279	8.3%	110.7%	105.7%
親会社株主に帰属 する中間純利益	11,310	5.4%	109.2%	102.8%

営業収益・営業利益推移



- ・ 4～5月は中東情勢の影響により石油関連商材の需要が拡大
- ・ 6～7月は昨年の空梅雨反動により夏物商材の販売に遅れ
- ・ 前期に比べ日照時間が短く、遮光用品の販売低調

商品カテゴリー別実績



(単位：百万円)

	2027年3月期 中間期				
	売上金額	前年比	営業収益比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	36,135	107.6%	17.3%	43.0%	+0.3
リフォーム資材・エクステリア用品	29,561	105.4%	14.2%	30.1%	+0.8
園芸・農業用品	63,314	101.7%	30.3%	30.9%	+0.2
日用品・家電・カー・レジャー用品	40,174	104.7%	19.2%	27.0%	+1.2
インテリア・家庭・オフィス用品	16,769	102.1%	8.0%	40.5%	+0.5
ペット用品・燃料他	13,200	99.9%	6.3%	28.9%	▲0.3
その他	7,554	101.9%	3.6%	100.0%	—
ホームセンター事業計	206,711	103.7%	99.0%	35.3%	+0.5

- ・ 中東情勢の影響から塗料や接着剤の販売が堅調
- ・ ポリ袋やフィルム等の石油関連商品の需要拡大
- ・ 2027年エアコン問題を背景にエアコン本体やエアコンパーツ等の関連商品の需要が拡大

フォーマット別実績



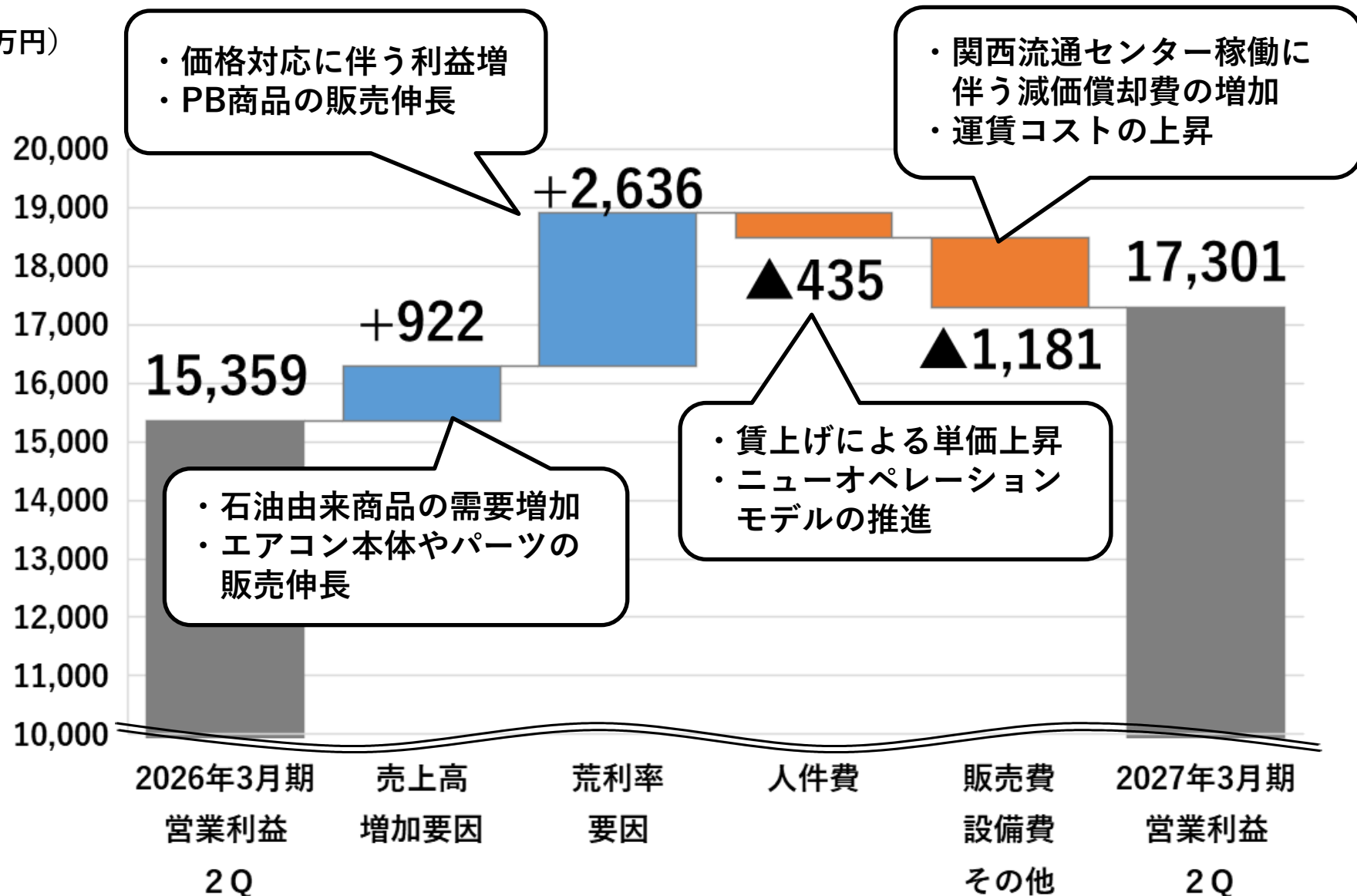
	2026年3月期 中間期		2027年3月期 中間期	
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比
パワー	102.4%	100.3%	106.2%	104.3%
P R O	130.5%	106.7%	133.0%	116.3%
ハード & グリーン	99.7%	99.6%	101.5%	101.2%
合計	101.2%	100.0%	103.8%	102.7%

- ・ パワーは石油由来商品やエアコンの販売が堅調に推移
- ・ PROは建築資材を中心に客数、客単価ともに伸長
- ・ ハード & グリーンは長雨の影響により園芸用品の販売が低調

営業利益増減要因



(百万円)



販売管理費



(単位：百万円)

	2027年3月期		中間期	
	実績	前年比	前年差	計画比
人件費	24,627	101.8%	+ 434	100.0%
販売費	6,351	99.3%	▲44	98.6%
設備費	19,305	105.6%	+ 1,030	102.4%
その他経費	6,045	103.3%	+ 195	93.0%
合計	56,329	103.0%	+ 1,615	99.8%

- ・ ニューオペレーションモデルにより人件費の増加を抑制
- ・ 電気料金の単価を見直し光熱費を抑制
- ・ 改装店舗数の増加に伴い、関連コストの増加

連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2026年9月末	2026年3月末	前期末増減	2025年9月末	前年増減
資産の部	流動資産	188,811	183,200	+ 5,610	178,816	+ 9,995
	うち 現金及び預金	13,597	12,130	+ 1,467	17,071	▲3,473
	うち 商品	131,533	132,696	▲1,162	120,322	+ 11,211
	固定資産	213,117	210,994	+ 2,122	209,124	+ 3,992
	うち 有形固定資産	181,993	183,130	▲1,136	181,795	+ 197
	うち 無形固定資産	9,445	9,441	+ 3	9,278	+ 167
	資産合計	401,928	394,194	+ 7,733	387,940	+ 13,988
負債の部	流動負債	95,063	98,575	▲3,512	94,575	+ 487
	うち 短期有利子負債	18,534	15,276	+ 3,257	12,408	+ 6,125
	固定負債	42,588	38,639	+ 3,949	37,570	+ 5,018
	うち 長期有利子負債	19,772	15,576	+ 4,196	14,496	+ 5,276
	負債合計	137,652	137,214	+ 437	132,146	+ 5,506
	純資産合計	264,276	256,979	+ 7,296	255,794	+ 8,481
	負債・純資産合計	401,928	394,194	+ 7,733	387,940	+ 13,988

中間期の出店・改装実績



■ 出店 店舗数計 1,234店舗（2026年9月末時点）

出店	合計	パワー	P R O	H & G	アテナ
通期計画	42	8	8	26	0
中間期 出店実績	5	1	0	4	0
退店	5	0	0	5	0

※うち3店舗は業態転換・移転

■ 改装

	店舗数	改装坪数
'27年3月期 計画	約140	約10万坪
中間期 改装実績	82	35,296坪

- ・ H&Gのプロトタイプの水平展開
 - ・ キープヤング
- 売上 4.0% 増加

成長基盤投資 ～投資計画～



	2027年3月期 計画	> >	2027年3月期 中間期実績
新規出店	42店舗 140億円	> >	5店舗 12.5億円
既存店 改装等	約140店舗 約10万坪 30億円	> >	82店舗実施 10億円
流通 センター (非店舗)	既存センター 機能拡充 10億円	> >	既存センター 機能拡充 0.8億円
各種 システム投資	20億円	> >	10億円
GX投資	20億円	> >	1.2億円
合計	220億円	> >	34.5億円



株主還元方針

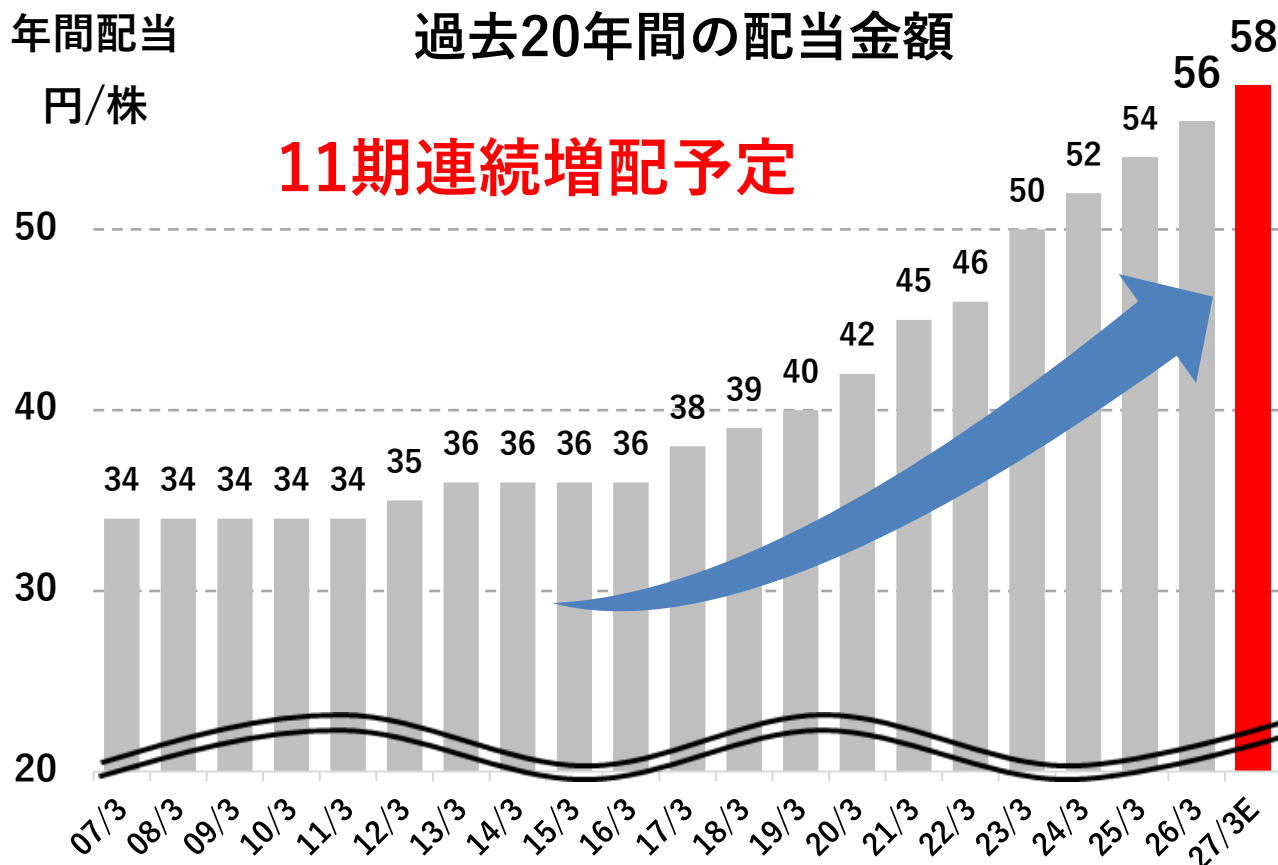


■ 当社グループは、流通近代化の実現が中長期的な企業価値の向上、株主利益の増大に寄与するものと考えております。利益分配につきましては、業績の成長に応じて配当の維持または増配を行う累進配当を基本としております。

年間配当
円/株

過去20年間の配当金額

11期連続増配予定



2026年7月28日発表
自己株式取得

取得株数 (上限)

2,200,000株

取得価額 (上限)

8,800百万円

経営環境の変化や資本
市場の動向を加味し、
機動的に実施。

2027年3月期

総還元性向

76.5%(見込み)

2027年3月期業績予想



(単位：百万円)

	2027年3月期 中間期実績	前年比	計画比	計画差	2027年3月期 業績予想	前年比
営業収益	208,803	103.8%	99.7%	▲697	400,800	104.0%
営業利益	17,301	112.6%	105.5%	+ 901	24,000	104.1%
経常利益	17,279	110.7%	105.7%	+ 929	23,900	102.2%
親会社株主に帰属 する中間純利益	11,310	109.2%	102.8%	+ 310	15,000	102.4%
配当金	中間 29円	+ 1円	—	—	中間 29円 期末 29円	+ 2円

2026年4月28日に公表いたしました
通期業績予想を据え置いております。

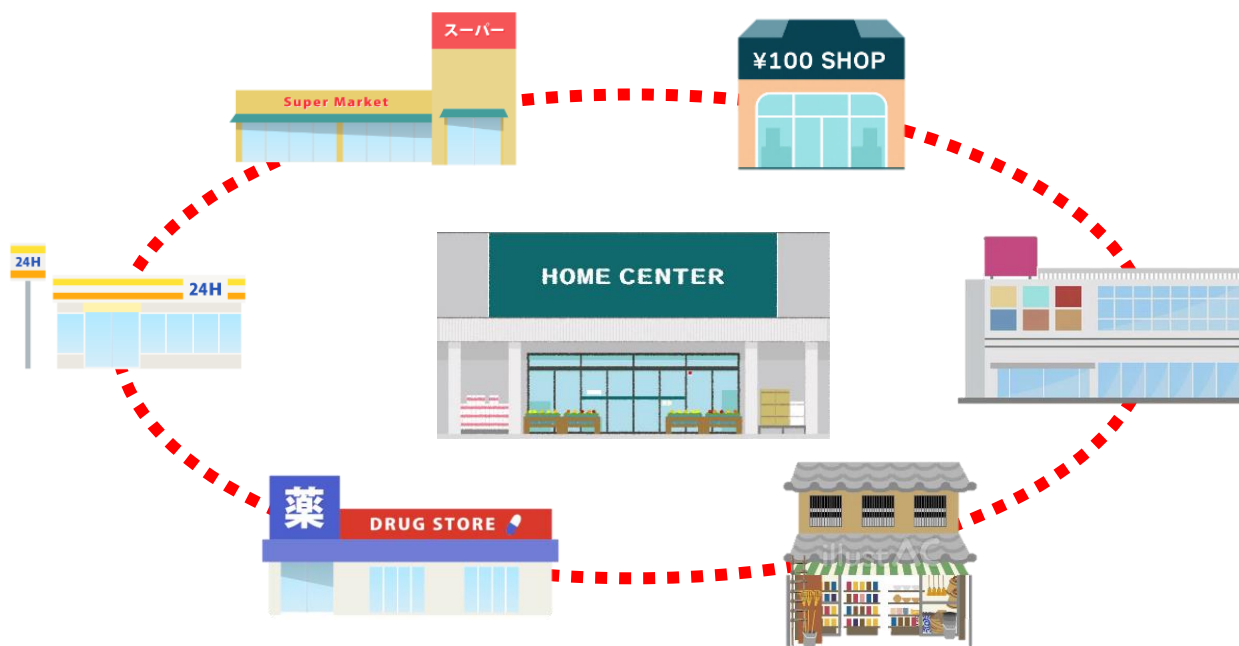
2027年3月期

主要施策



■ フォーマットの細分化とパイの奪い合い

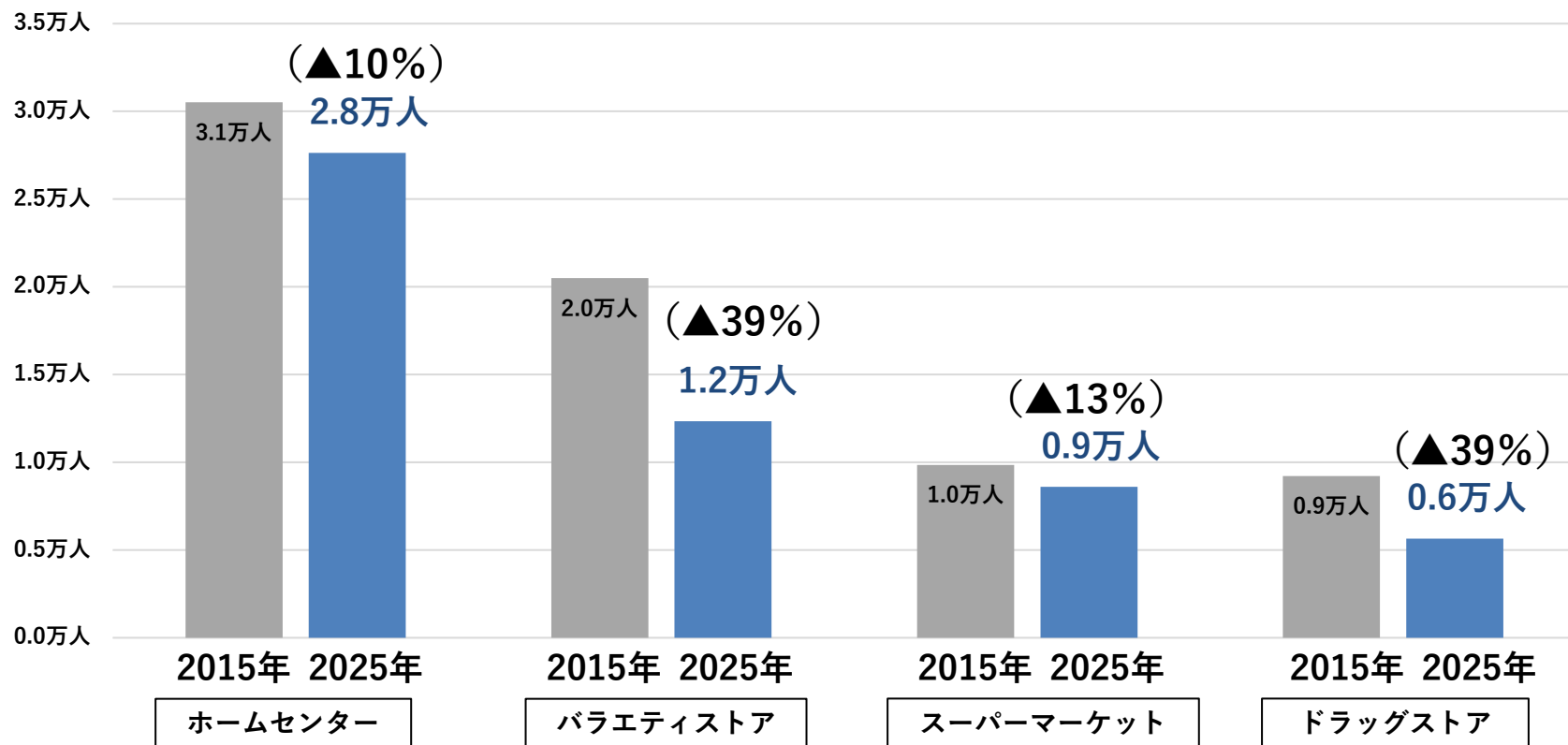
奪う量 > 奪われる量 = 「成長」



■ オーバーストア環境の進行

1 店舗あたりの人口は減少の一途

(万人/店舗)



■ 「衣食**住**」 ⇒ 「**住**食衣」へ

お客様のご不満が最も多いのは “住関連分野”



■ 遅れた分野の **流通近代化**

多段階にわたる流通構造

取扱いの制限など日本的商慣行が残る

⇒ 近代化のメリットを享受できる分野

原材料

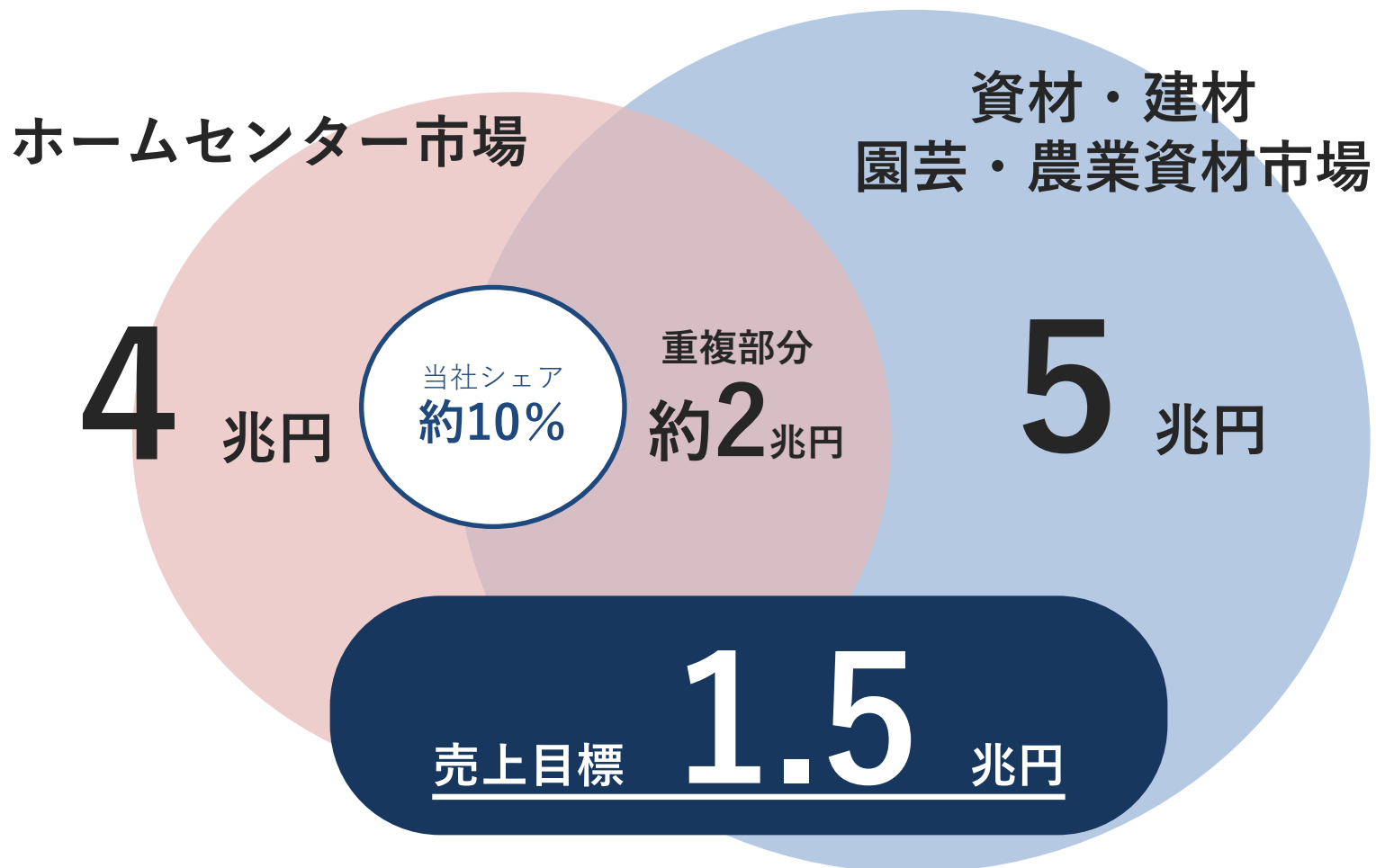
加工

運搬

販売



■ 我々がチャレンジする **7兆円** 市場



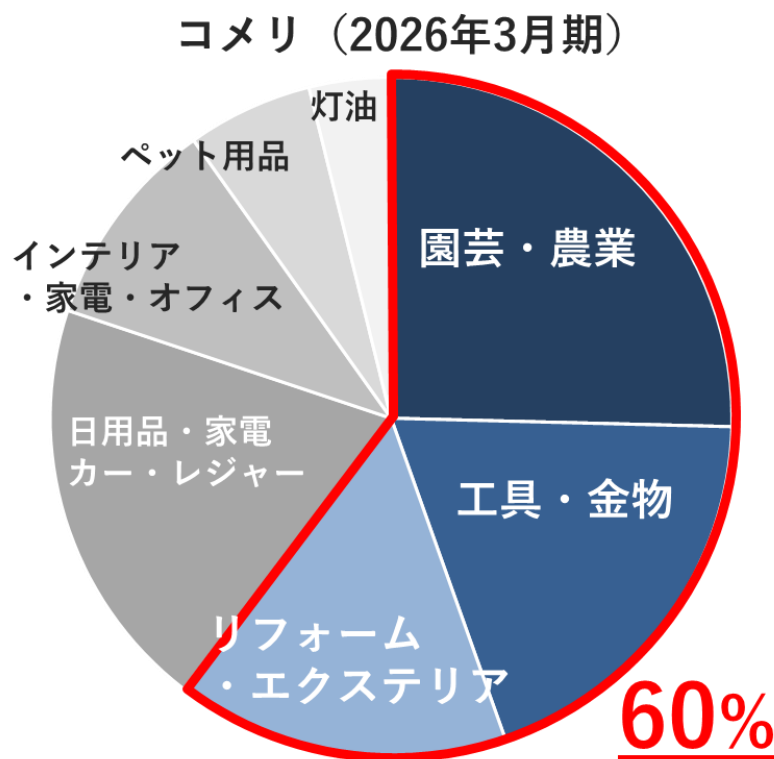
出所：経済産業省「商業動態調査」、総務省統計局「全国家計構造調査」、農林水産省「農林業センサス」「営農類型別経営統計」より当社推計

核カテゴリーが示すコメリの特徴

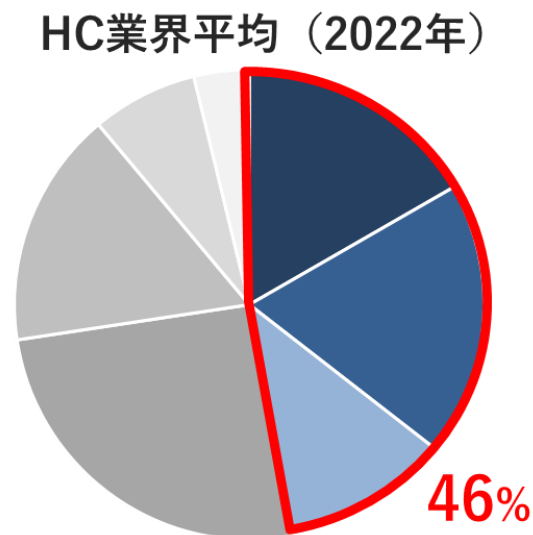


■ 資材・建材、園芸・農業分野で他社と差別化

業種店のニーズを担うには『○○ならコメリ』



<カテゴリー別売上構成比>



ミッション実現を支える乗りもの



■ コメリパワー

中～大型商圏型 メガホームセンター

目的来店性の高い「品揃え」「サービス」



ミッション実現を支える乗りもの



■ コメリPRO

コメリパワーの資材館をスピンアウト
プロのお客様のニーズに応える



ミッション実現を支える乗りもの



■ ハード & グリーン

1万人商圏で成立する **独自フォーマット**
小商圏であるため多店舗展開が可能

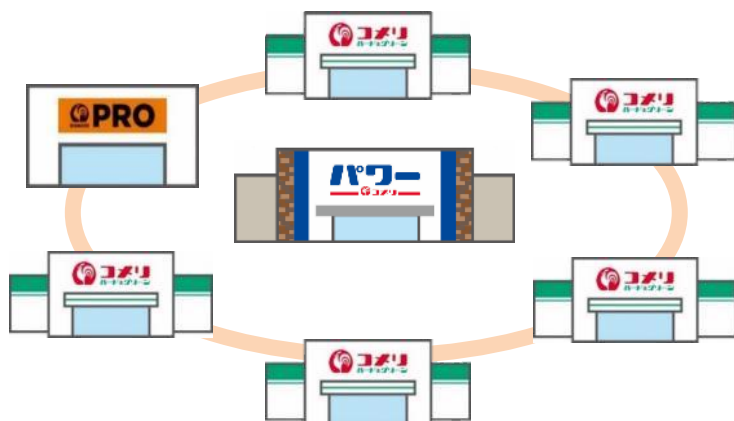


■ 商圏内No.1 戦略

相対的小商圏フォーマットでの出店が基本

■ ドミナントエリアの形成

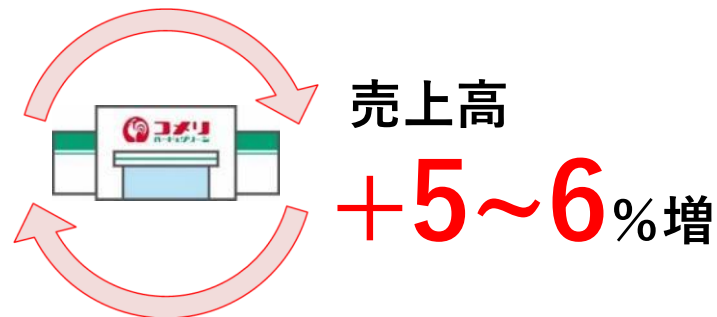
3つのフォーマットを隙間なく出店



<2026年9月末時点 店舗数>	
パワー	121店舗
ハード&グリーン	1,087店舗
P R O	24店舗
アテナ	2店舗
合計	1,234店舗

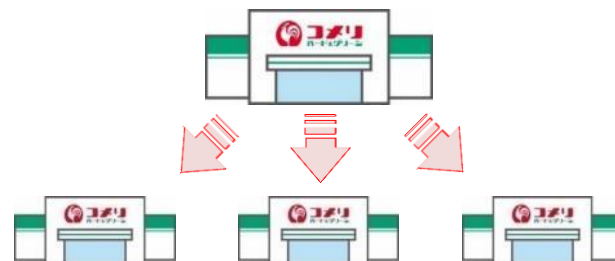
■ キーピング

定期的な改装による
新鮮さの演出と来店動機の創出



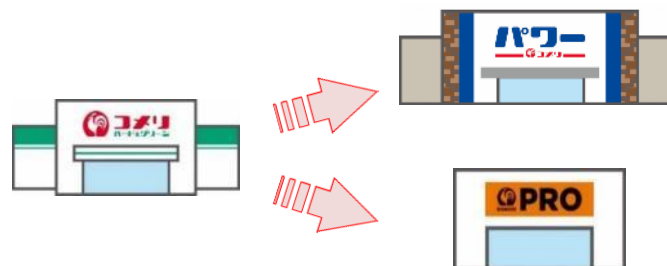
■ プロトの水平展開

売上好調な最新のプロトモデルを
既存店へ **水平展開**



■ フォーマット転換

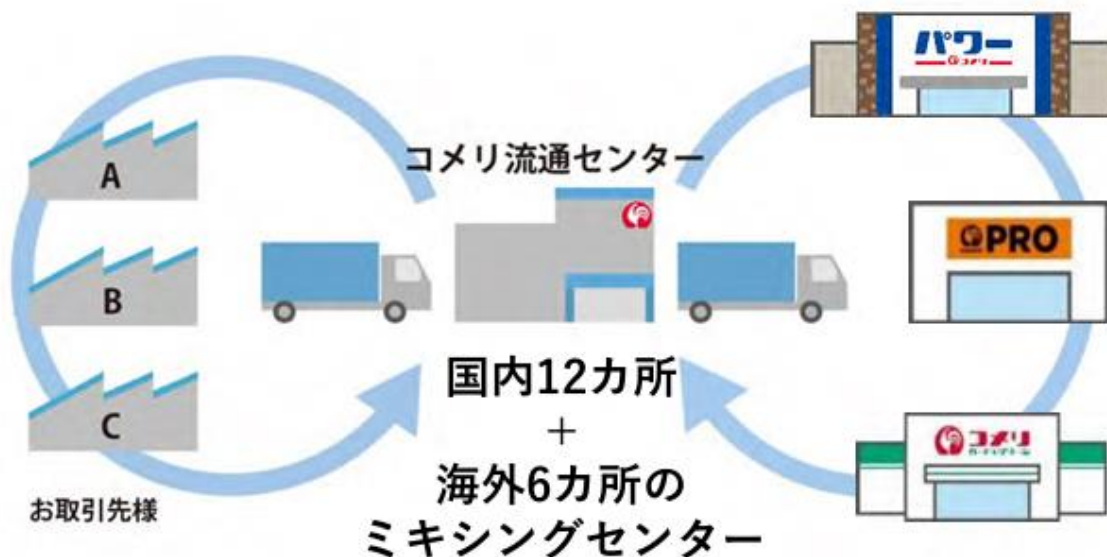
立地与件・競合与件に応じて
店舗収益力を **最大化**



流通近代化を実現するためのグローバル物流

生産から販売までをトータルプロデュース

「世界のベストソースから、
より良いものをより安く」

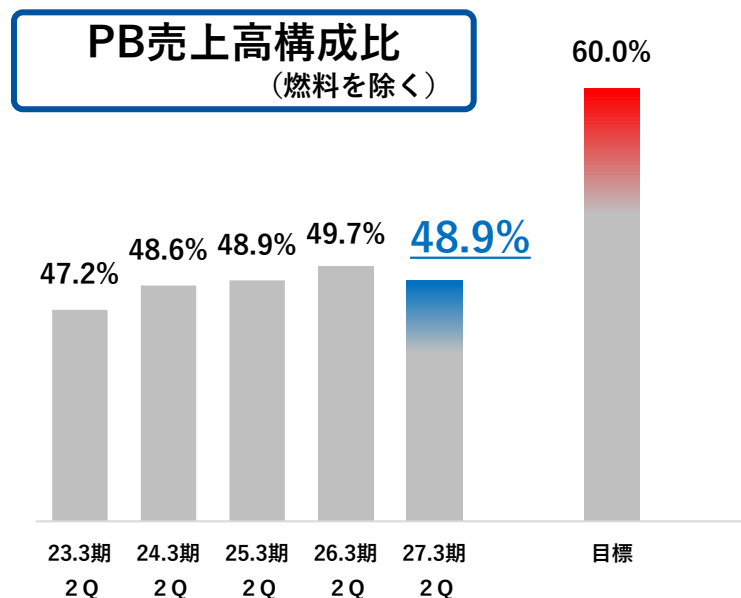


成長戦略 ～商品力の強化～



■ 業界No. 1 店舗数が生む **商品力**

- ・ マス化が商品開発の源泉となる
- ・ 世界のベストソースで商品開発



PB売上高 前年同期比 **102.2%**



成長戦略 ～商品力の強化～



3つの商品が **グッドデザイン賞** を受賞



<真空パネルクーラーボックス>

冷蔵庫に使用される真空断熱パネルを5面に使用
高密度発泡ウレタンをフタ部分含めて6面に設置
圧倒的な保冷性能を実現



<アルミシステムテーブル>

予約販売開始から1日で予定数を超える受注
七輪やカセットコンロの使用が可能
外した天板は拡張天板として活用可能



<ACコンパクト高圧洗浄機 10MPa>

最大吐出圧力10MPa
本体重量は**わずか約5.6kg**

店舗オペレーションのスマート化

セルフレジ設置店舗数 **188 店舗** に拡大

清掃ロボット導入店舗数 **49 店舗** に拡大



<セルフレジ>



<清掃ロボット>



<コード決済の導入>

■ 全店フルリフォーム体制

業界No.1 店舗数を活かしたチェーンリフォーム

気軽に相談できる 「敷居の低さ」



<システムキッチン>



<エアコン取付>



<庭木の手入れ>

■ 業界No.1 店舗数の活用

取り置きサービスの店頭受取比率は **80%超**

EC売上構成比 **7.0%** (2026年9月末時点)



送料不要の
店舗受取

 **KOMERI.COM**

ネット注文可能
約54万点

■ つながる営業体制の構築

個人・農家・法人等の決済ニーズに対応

6種類のカードを発行

年間購入金額に応じてポイント率を

優遇する**FSP**制度



成長戦略 ～農業分野の取り組み～



8 JAとの協業関係を構築

JAの商品を取り扱っている店舗は **47店舗**

JA・農業者・コメリの「三方良し」

4 JAと協業開始に向けた協議を継続中

協業関係にあるJA（8件）

- | | |
|------------|----------|
| ・ JA秋田おばこ | ・ JA大井川 |
| ・ JA山形おきたま | ・ JA伊勢 |
| ・ JA山梨みらい | ・ JA多気郡 |
| ・ JA上伊那 | ・ JAわかやま |
| | 紀の里地域本部 |

協業開始に向け協議中JA（4件）

- | | |
|----------|----------------------|
| ・ JAおきなわ | ・ JA兵庫六甲 |
| ・ JA北びわこ | ・ JA北つくば（New） |



■ 立地与件への対応

立地与件への対応の一環として
農業強化の必要な店舗対応



＜農薬特化型の売場＞



＜出荷資材特化型の売場＞

お客様のお困りごとを解決できる人材・環境づくり

賢和塾



<マイスター制度>



<Eラーニングの整備>



<アメリカセミナーの実施>



【ジョブローテーション制度】

計画的な配置転換により知見の拡大

→多角的な視点で問題解決能力の向上

FA制度の導入

→経験したい部署への立候補制度

■ 多様な人材の活躍・健康経営の推進

従業員の健康は重要な要素のひとつ

多様な人材が活躍できる環境の確保に注力

女性店長

152名

H&G店長代行者

757名

大型店グループリーダー

521名 (2026年9月末時点)

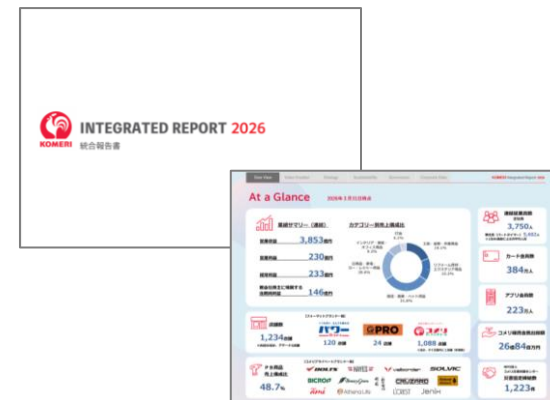


サステナビリティへの取り組み



統合報告書の開示

「コメリ統合報告書2026」を公開
(2026年9月30日)



ハラスメント防止への取り組み

各種社内研修において教育、周知徹底
社内相談窓口の設置
対応マニュアルの作成等



■ 1990年より 毎年 **利益の約 1 %** を社会へ還元



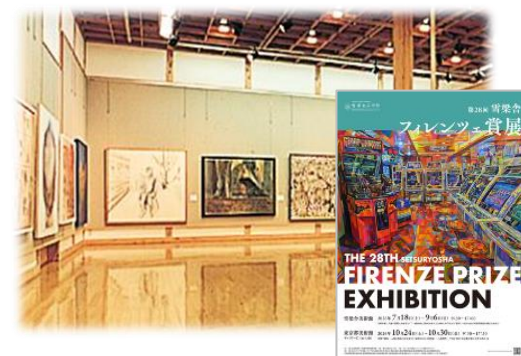
森林整備・自然環境の保全
園芸・農業分野の支援

「第37回コメリ
緑資金環境助成」
「グリーン
ボランティア助成」



災害対策ネットワークの構築
防災啓発活動

物資支援協定締結数
1,248団体



個店やグループ展を開催
若手芸術家の育成支援

全国公募展
「**フィレンツェ賞展**」
上位入賞者へ留学支援



【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。